



▲昭和初期の九州学院キャンパス。右側が本校舎、左から2番めの建物がチャペル

▼W・M・ヴォーリスによって1925年に建てられたブラウン・メモリアル・チャペル。学院のシンボルとして、今日も生徒たちの毎朝の礼拝に使用されている。国の登録有形文化財

(この写真以外は提供=九州学院)



▲九州学院の神学部教授と学生。前列中央がブラウン、左から2番めが遠山参良(1911年)



学園の創設者 C・L・ブラウン

## 熊本の教会史に影響 地に愛される名門校

# 九州学院

九州学院  
〒862-8676 熊本市  
中央区大江 5-2-1  
TEL096-364-6134

### 宣教師の熱意が結んだ実

九州学院は、アメリカの南部一致ルーテル教会から派遣されたC・L・ブラウン宣教師が、ミッションスクールをつくるというビジョンによって一九二一(明治四四)年に開校した。ブラウンの熱意に賛同して初代院長に就任したのは、熊本洋学校出身で熊本バンドの一人、遠山参良である。



▲創立時の正門。現在は裏門として残っている



▲1914年に校訓に制定された「敬天愛人」。中村正直のこぼれて、題字は西郷隆盛の揮毫の拓本

ブラウンは一九一六年に帰国し、その後宣教地リベリアで病没するが、彼が生み出した学院はさまざまなキリスト教関係者とながり、熊本のプロテスタント史に大きな役割を果たしている。熊本バンドやハンナ・リデル(9頁)、慈愛園(10頁)との関わりと協力、多くの伝道者の輩出など、その功績は枚挙にいとまがない。今日も、スポーツや学問、芸能など多方面で卒業生が活躍している。学院の創立百周年に開設された「歴史資料・情報センター」には、創立初期の貴重な手記や関係者の活躍が、整然と記録・展示されている。